

～ひと、みどりも元気～ 六甲山サミット 開催！

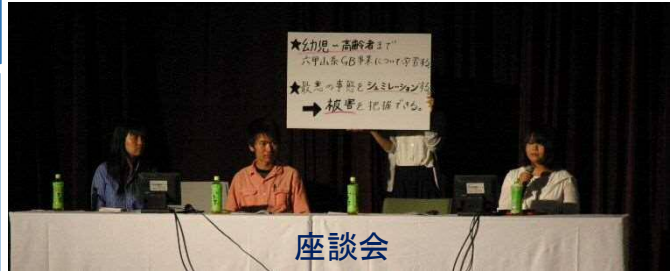
～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

阪神・淡路大震災から20年が経過し、その教訓を次世代に伝えるための様々な取り組みが展開されています。本サミットは、この20年間の六甲山系グリーンベルト整備事業の取り組みを改めて市民のみなさまにお示するとともに、六甲山麓に位置する自治体を交え、緑豊かで安全な地域づくり、森づくりを市民のみなさまといかに進めていくのか、土砂災害にどのように対処していくのかを考える場として開催し、300名の方に参加いただきました。



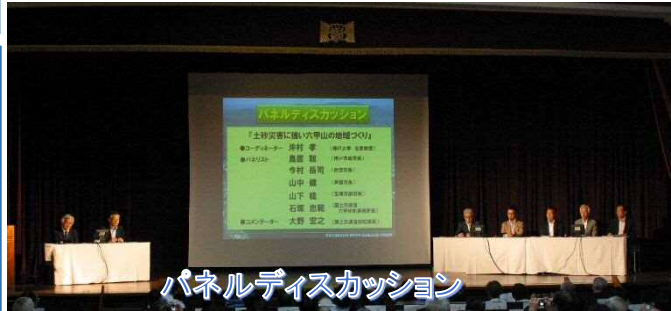
概要

日時：平成27年6月28日（日）
 場所：神戸大学
 主催：六甲砂防事務所、兵庫県、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市



プログラム

- 六甲山系グリーンベルト整備事業功労者への感謝状贈呈式(7団体に贈呈)
- 座談会：
 若者と語る！阪神・淡路大震災 六甲山の森づくり
 司会：中瀬 勲(兵庫県立大学名誉教授)
 神戸大学大学院、神戸松蔭女子学院大学 学生4名
- パネルディスカッション：
 土砂災害に強い六甲山麓の地域づくり
 コーディネーター：沖村 孝(神戸大学名誉教授)
 パネリスト：神戸市副市長、西宮市長、芦屋市長
 宝塚市副市長、六甲砂防事務所長
 コメンテーター：国土交通省大野砂防部長
- 六甲山麓あんぜん、げんき宣言
 神戸市立住吉中学校生徒 3名




- 座談会では、まちづくりや環境と人間の共生について学ぶ立場から、自身と六甲山麓の係わり、魅力について学生たちと語りながら、地域の自然や防災を学ぶ取り組みについて意見を交わしました。
- パネルディスカッションでは、各市長・副市長より「六甲山麓のまち」としての特色を生かした、地域づくりのビジョンや土砂災害防止対策について、あつくお話いただきました。砂防施設の整備やグリーンベルト事業が、度重なる水害や地震の被害から速やかに復興を遂げるうえで大きな役割を果たしてきていること、また、これからの地域づくりを支える安全な都市基盤として、ストック効果を発揮していることが指摘されました。また、大野砂防部長より、昨年の広島や丹波市などの全国の土砂災害発生状況と近年の降雨の変化について話題提供を受けて、各市から土砂災害防止に向けた取り組みの報告がありました。
- サミットの最後に、神戸市立住吉中学生による六甲山麓あんぜん、げんき宣言が行われました。

過去の震災による教訓をいかし、他の被害に遭った地域の生徒と情報交換を行い、「常に備えよ」の精神として受け継がれていると報告しました。また、全国の中学生と一緒に作った「行動宣言」を発表しました。テーマは「結」(つなぐ)。地域の知恵や災害の教訓を、これからもつないでいくことをここで確かめあったことが報告されました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 六甲砂防事務所 調査課



〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町 3-13-15
 TEL：078-851-0535